



総括

国立国際医療研究センター 国際医療協力局

清水 栄一

2024年3月19日

令和5年度 国際医療展開セミナー「医療製品を低・中所得国へ -企業に役立つ公的支援の活用法-」

日本政府と医療・ヘルスケアの国際展開 (アジア・アフリカ健康構想)

OUI Inc.

開発段階からの公的支援の活用

- 眼科分野でのデバイスの開発設計、実装に至るまで、国内外の公的支援を活用し、7つのステップを幅広くカバーした事例

SORA Technology

スピード感を重視した公的支援の活用

- ドローンを用いたマラリア対策に複数の公的支援を組み合わせ、現地パートナーと連携し、現地ニーズを検証した事例

富士フィルム

認証取得のための公的支援の活用

- WHO認証取得は個社単独では困難。パートナーとの連携が必須
- 製品導入のための現地エビデンス構築やキーマンとの関係構築に補助金活用は有効

ニプロ

サービス提供の際に有効な公的支援の活用

- 公的支援と積極的な製品プロモーションが必須
- 公的支援を効率よく受けるための代理店の存在

企業による公的支援の戦略的・効果的活用法

■ 7つのステップに基づいた企業による公的支援活用の分析から

現地渡航の機会を 最大限活用する

- 現地で生の情報を得たり、人脈形成ができる
- 自社製品の有効性を検証でき、ガイドライン/保険収載につながる

公的支援の特徴を理解し、 自社努力を補うために活用する

- 製品開発・認証支援型と保健医療サービス提供支援型の二刀流
- 政府機関の現地事務所や報告書等、公的情報へのアクセス

公的支援＝政府支援事業 であることの利点を活用する

- 経営陣の関心を高め、社内広報に役立てる
- 相手国政府や医療機関からの信頼を得やすい

- 1. 「現地渡航の機会を活用」「自社を補う支援の活用」「日本政府事業であることを活用」の3点について**
- 2. 公的支援の将来的な可能性**
- 3. 国際展開を考えている企業へのメッセージ**

1 「公的支援を活用する メリット」

- 「日本政府の事業として、企業単独では難しいことに挑戦できる」
- 「相手国政府や医療機関の信頼性・関係構築の向上に有利」
- 「公的な販売の促進につながる」
- 「人件費・資金面でのサポート」
- 「対外アピールになる」

2 「役に立つ公的支援とは」

- 「技術向上のための人材育成支援（現状NCGMしかない）」
- 「医療制度や認証制度の調査」
- 「すでに調査済みの海外ニーズに対する施策誘導型研究開発支援」
- 「PQや薬事登録取得のための実証費用・相談窓口」
- 「相手国政府・医療機関・国際機関との連携仲介支援」

3 「その他」

- 「事務手続きの簡素化」
- 「複数年活用できる」
- 「（物品が購入できる等）自由度の高い資金支援」
- 「ALL Japanで取り組める体制支援」

Thank You

